

それでは呼びかけをさせていただきます。

県内の新規感染者数は7月下旬以降増加が続き、本日は過去最多となる74人となります。

直近の感染傾向としては、昨日も少し申し上げましたけれども、県外を訪問されるなど県外由来の感染が増加し、直近1週間、7月28日から8月3日ですが、県外由来が22%となり前週と比較すると8.3ポイント増加をしています。

(資料を提示) ここにもありますとおり、県外由来と確定できるものが22%あるうえに、そこでの由来かどうかわからないけれども、少なくとも行動歴として県外との往來がある人が7.2%ありますが、足すと約3割に届くということでありますので、県外との関係というのが非常に注意が必要であるということです。

それから、デルタ株を含むL452R変異株への置き換わりが進んでいます。直近のスクリーニング検査における7月26日から8月4日公表分から検査をしましたが、L452R変異株の陽性率は72.9%となっています。

(資料を提示) 昨日の呼びかけの時は、まだ最新のL452Rの1週間分の検査のやつがわからなかったわけですが、ここにありますとおり1週間ずつ検査をしている中で、検査したもののうちデルタ株を含むL452Rという変異株の割合が7月14日は9.0、21日は12.8、27日は48.1、そして今回発表させていただくものの中では72.9ということで、デルタ株を含むL452R変異株への置き換わりが進んでいるということ、これも大変、今のこの感染が急拡大しているところの大きな大きな要因であると考えています。

それから感染者の増加に伴い病床占有率は徐々に増加し、37.2%となり医療への負荷が懸念される状況です。

(資料を提示) あらためて変異株ですね。今申し上げましたとおり、直近の1週間の検査のうち、72.9%がデルタ株を含むL452Rという変異株であるということでありますので、この変異株への置き換わりが非常に速く進んでいるということで、従来の変異株、アルファ株だとかとは比べても感染力が極めて高い変異株であります。

一方で、第4波の時とは若干違うところは、ワクチン接種の推進や病床確保など、関係機関にご協力をいただいて対策を進めておりますので、重症者用病床占有率、今日で8.0%、昨日より下がっているわけですが、の急激な増加にはいたっていません。

こうしたことから、現時点で直ちに、飲食店への営業時間短縮要請などの措置を行う状況ではないものの、間違いなく直近の大変厳しい、こういう状況をふまえて、8月6日金曜日に本部員会議を開催し、これからお盆期間や夏季休業の期間を迎えることもふまえた、今必要な対策について決定したいと考えております。詳細は本部員会議において決定いたしますけれども、例えば医療機関の負荷軽減のために、宿泊療養施設の入所要件を緩和して、より一層宿泊療養施設を活用できるようにしてケアをしていくとか、あるいは事業所における抗原定性検査キットを更に活用して、早期に職場などでの感染拡大を抑える

というようなことですね。などの対策を検討しています。

そういう中で、本日あらためて現在の状況をふまえ、県民の皆様に取り組んでいただきたい感染防止対策についてもお願いをさせていただきます。

全国的にも感染拡大が続く中、県外への移動は可能な限り控えていただくとともに、変異株が増加する中、あらためて基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

普段会わない人と会うことも多くなる時期ではありますが、大人数や長時間となることは絶対に避けていただき、マスク着用、距離の確保、手指消毒などそれぞれができる対策をしっかりと取っていただくようお願いをいたします。

また、ご家族や友人に広げないために、発熱、咳、体がだるいなど少しでも症状がある場合には、外出を控え、家庭内でも対策を徹底し、早期に身近な医療機関への相談をお願いしたいと思います。

夏休みなので帰省をされる方、こちらに帰省をされる方、あるいはこちらから行くケースでもそうですけれども、体調が悪い、そういうご親族とかがいらっしゃる場合にはそれをしっかり見て、時期をずらすとか、そういうようなことも考えるということ、ご親族ご家族間でもぜひしっかり話し合っ、感染が拡大しないようにぜひ対策を徹底してほしいと思います。

多くの感染者が発生し、変異株が増加するなど日々状況が大きく変わる中で、不安に思われる方も多いかと存じます。一方で、7月末までに希望する高齢者の方への接種を完了するという目標は達成し、若い世代の方へのワクチン接種も進んでいます。副反応や変異株のワクチンの効果への影響などの情報に加え、デマや真偽不明のものも含む様々な情報が発信されていますが、ワクチンが発症を予防する高い効果があることは十分認められていますので、公的機関の発信する正確な情報によりご判断をいただいて、接種の機会の活用をお願いしたいと思います。

繰り返しとなりますが、我々ひとりひとりが感染リスクの高い場面を意識し、しっかりと対策をとることで感染拡大は防ぐことができます。

県としてもワクチン接種の推進をはじめ、しっかりと対策を実施してまいりますので、引き続き一緒に取り組んでいただきますようお願いをいたします。

以上です。